

Version 9.6 リリースノート

2025 年 6 月 22 日

ベリカット V9.6.は 64 ビットの Windows で利用でき、Windows 10 と Windows 11 のコンピューターで稼働します。

このソフトウェアは、ベリカット V9.6 のライセンスと Sentinel v9.8.1 のライセンスサーバーを必要とします。

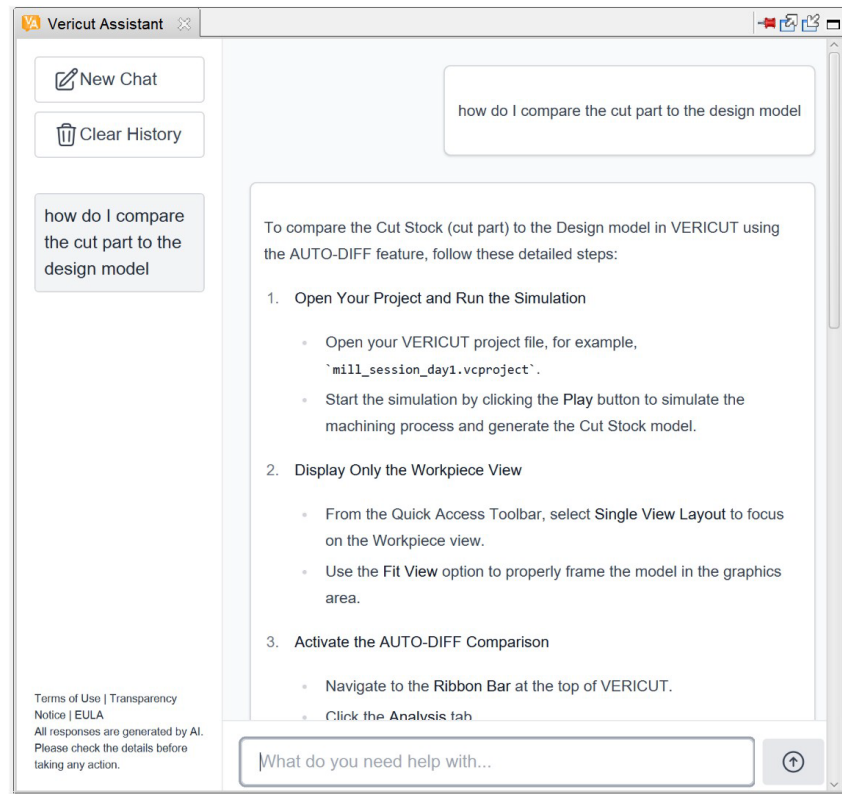
V9.6 の新機能ハイライト

■ ベリカット アシスタント:ステップ・バイ・ステップの実践的ガイダンス

ベリカット アシスタント(VA)は、ベリカットの機能を実務で活用するためのガイドに特化しています。VA は次のような作業について、明確なステップ・バイ・ステップの手順を提供します。

- 加工後形状を設計モデルと比較するには？
- 座標系を作成するには？
- 各エラー発生時にシミュレーションを停止するには？

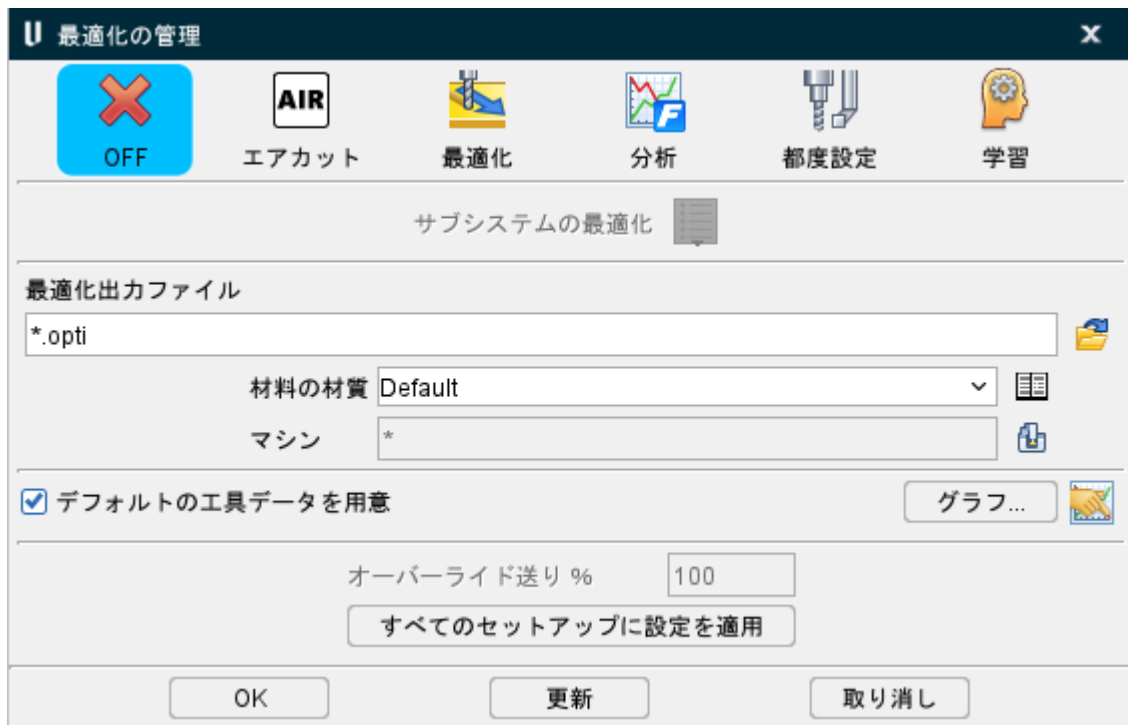
また VA は今後、ソフトウェアと直接連携し、「この条件でツールを追加」のような操作も実行できるよう進化していきます。この進化により、ワークフローが合理化され、ユーザーは実行可能なインサイトを得られるようになります。



■ [最適化の管理]ウィンドウ

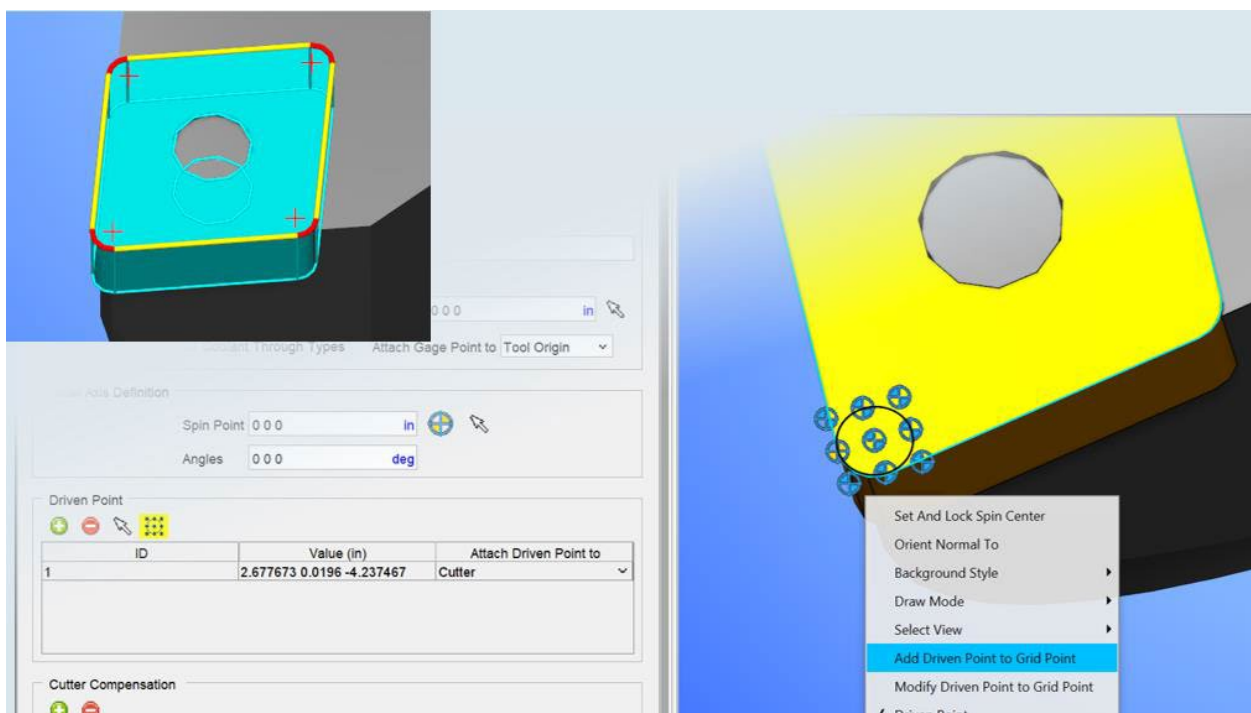
[最適化の管理]ウィンドウは再設計され、シンプルでわかりやすいインターフェースになります。

- 最適化モードを選択する従来のプルダウンオプションは、トップレベルアイコンに置き換えられます。
- 「デフォルトの工具データを用意」と「グラフ」の機能は、各タブで表示されます。
- 「デフォルトの工具データを用意」は、デフォルトでオンに設定されています。
- ウィンドウに固定されていたグループオプションは、タブ内で展開可能なメニューオプションになります。



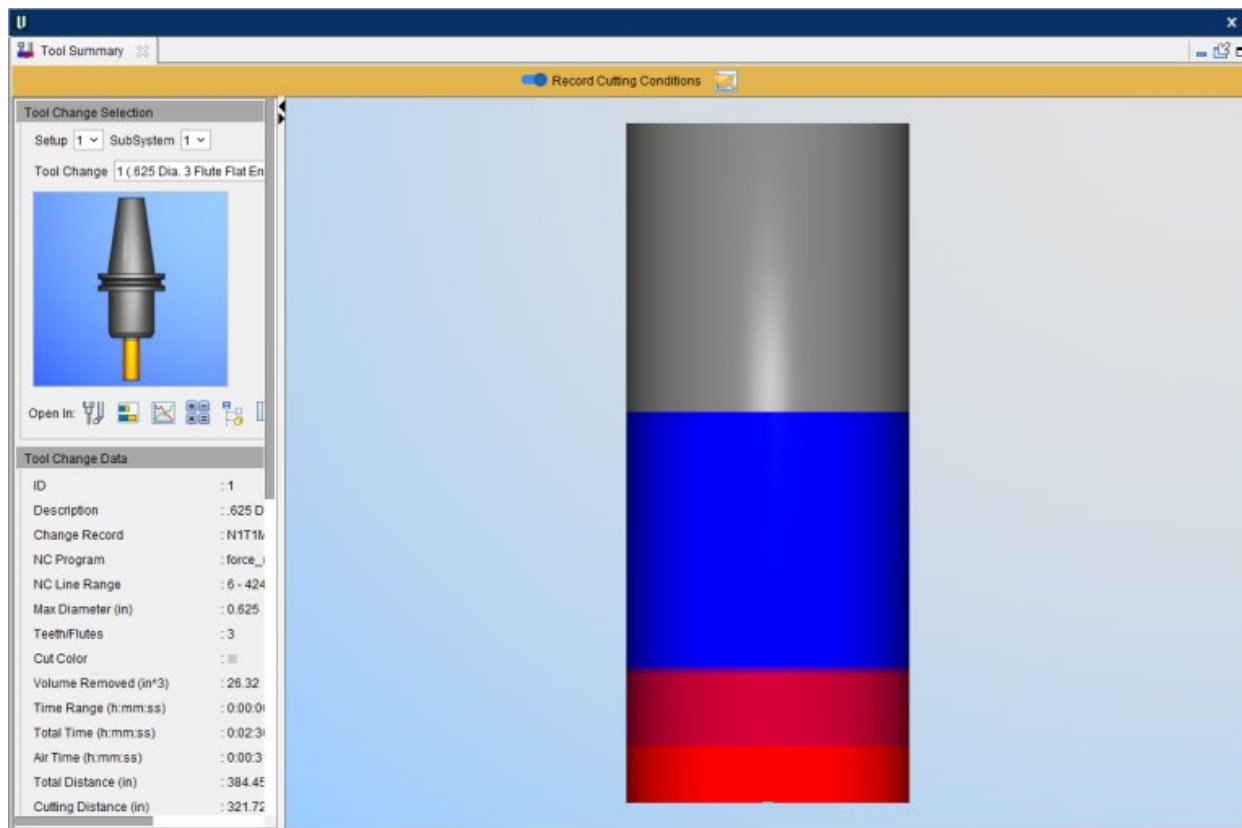
■ 駆動点と正式な寸法諸元

工具マネージャーの新しい切削面表示ではインポートされた旋削インサート上のカーブとセグメントが表示されます。インタラクティブな 3x3 点グリッドから、目的とする駆動点を表示し選択する新機能が追加されます。3x3 点グリッドは正式な寸法諸元も作成します。切削面から 3 点を指定してノーズ半径を定義する新しいオプションも追加されます。



■ [工具概要]パネル

[工具概要]パネルは、サイドパネルに工具交換データを表示するなど、いくつかの重要な点で[グラフ]パネルと似たように改良されます。



■ 工具性能データ

工具性能データと切削限界データが拡張され、より幅広い種類の材料／カッタータイプに対応できるようになります。

切削限界

最適化

材料の材質

Titanium+6Al4v+HRC37

修正...

追加...

マシン

*

カッタータイプ

Solid Round Tool (SRT)

最大スピンドル回転数

20000

RPM

カッター材質

Carbide

工具／オペレーションの説明

T46

工具径

25.3997

mm

加工方法

荒取り

刃

4

切削限界

工具摩耗

機械加工最適化データ

切削限界									
切削限界の元データ ベリカットの工具データ									
検証		最小		中間		最大			
☐	スピンドル回転数 (n)	375	RPM	952	RPM	1528	RPM	☒	デフォルト
☐	毎分送り (vf)	114.3	mm/min	386.89	mm/min	776.22	mm/min	☒	デフォルト
☐	毎回転送り (fn)	0.305	mm/rev	0.406	mm/rev	0.508	mm/rev	☒	デフォルト
☐	切り取り厚さ (hex)	0.0762	mm	0.1016	mm	0.127	mm	☒	デフォルト
☐	周速 (vc)	30	M/min	76	M/min	122	M/min	☒	デフォルト
☐	体積除去率 (Q)	0.3	mm³/min	74901	mm³/min	751172.8	mm³/min	☒	デフォルト
☐	工具の変位	0.0254	mm	0.0339	mm	0.0423	mm	☒	デフォルト
☐	軸方向の切削深さ (ap)					38.1	mm	☒	デフォルト
☐	径方向の切削幅 (ae)					25.3997	mm	☒	デフォルト
☐	ランブ角					45	度	☒	デフォルト

1800 種類以上の材料／カッタータイプが追加されます。

In	SRT	Micro	Rough	Carbide	Straight
mm	IDX	Reg	Finish	HSS	Serrated
		90d		Cobalt	Wave
		45d		Ceramic	
		BUT			
		HF			
		DFR			
		Ball			

■ CNC マシン接続

[ユーティリティ]タブ>[マシン接続]から開く[CNC マシン接続]パネルは、様々な面で強化されます。

- CNC マシンモニターが部分的なスピンドルマッピングでも動作できるようになります。
- [詳細構成]タブ:[軸のマッピング]タブで軸がマッピングされていない場合、その軸は[プリチェック]タブ:[機械の初期位置]タブに表示されません。
- [詳細構成]タブ:[軸のマッピング]タブで軸がマッピングされていない場合、その軸は[プリチェック]タブ:[ワークオフセット]タブに表示されません。
- [プリチェック]タブ:[工具オフセット]タブでは、プリチェック実行時間を短縮するため、そのプロジェクト内の工具だけを検索するようになります。
- ナカムラのマルチタレット・マルチスピンドル・マシンに固有の機能として、工具オフセットを計算する特別な手法が組み込まれます。

The screenshot shows the 'CNC Machine Connectivity' window. The 'Precheck' tab is selected, displaying a table of tool offsets. The table has columns for Subsystem ID, Tool ID, Description, VERICUT Value, CNC Machine Value, and an Update checkbox. Some values are highlighted in red. Below the table is a status log with the following text:

```

Comparing NC programs and subroutines from CNC machine to VERICUT...
CNC File Does Not Exist
--> Subsystem: *
--> File Name: C:\Users\kjames\Desktop\Connectivity\connectivity_00018.sub
--> Subroutine: 0018
Comparing work offsets from CNC machine to VERICUT...
Comparing tooling offsets from CNC machine to VERICUT...
  
```

Subsystem ID	Tool ID	Description	VERICUT Val...	CNC Machin...	Update
1	1	1	0 0 4.4488	0 0 4.4474	☐
1	2	2	0 0 3.689	0 0 3.685	☐
1	3	3	0 0 2.7461	0 0 2.7444	☐
1	4	4	0 0 3.3252	0 0 3.128	☒
1	5	5	0 0 4.9528	0 0 4.9346	☐
1	6	6	0 0 4.1415	0 0 4.2209	☐
1	7	7	0 0 4.1867	0 0 4.1673	☐
1	11	11	0 0 2.7461	Missing	☐
1	8	8	0 0 3.8206	0 0 3.32	☒
1	9	9	0 0 4.6286	0 0 4.6217	☐

■ [ユーザー仕様設定]ウィンドウ:[通知]タブ

通知を受け取るオプションは、[環境設定]ウィンドウで有効にできます。通知の受信先として Outlook や Teams を選択できるほか、通知を受け取るタイミングや、記録すべきエラー数を指定することもできます。

U ユーザー仕様設定

起動時
PDF/HTML/エディター
表示仕様
カラー表現
通知
アプリケーション
ステータス情報
グラフ
キューブ

通知の配信に関して、CGTech は保証を提供しません。通知の見逃し、遅延、未配信に関して、CGTech はいかなる責任も負いません。通知は情報提供だけを目的として提供されています。重要なコミュニケーション、決定、プロセスについて、通知に依存すべきではありません。

☒ 理解しました。通知をオンにします。

電子メールでの通知

電子メール:

☐ 最後で通知

☐ エラー数 1

Teams での通知

受信者名:

Webhook URL: ?

☐ 最後で通知

☐ エラー数 1

現在の設定を保存...

OK 更新 取り消し

■ [ユーザー仕様設定]ウィンドウ:[キューブ]タブ

ウィンドウ内のビューキューブの表示位置を、4 か所で切り替えできます。

U ユーザー仕様設定

起動時
PDF/HTML/エディター
表示仕様
カラー表現
通知
アプリケーション
ステータス情報
グラフ
キューブ

キューブの表示 ☒ ON ☐ OFF

配置

☐ 左上 ☐ 右上 ☒ 左下 ☐ 右下

カラーの設定

キューブのエッジ
キューブの頂点
キューブのハイライト
アイコン/矢印
アイコン/矢印のハイライト
アイコン/矢印の枠

現在の設定を保存...

OK 更新 取り消し

■ レポート

レポートのツールバーが刷新され、合理化されます。Microsoft Word のような操作フローになったため、ユーザーにはより直感的になり、以前よりも大幅に多くの書式設定オプションが利用できるようになります。

The screenshot shows a report template in a software window titled "U テンプレート - C:\Vericut\DailyBuilds\cgtch96\library\Vericut\VcTemplate". The interface includes a ribbon with tabs like "開く", "新しいファイル", "最近使ったファイル", "上書き保存", "WORD を開く", and "別名で保存". Below the ribbon is a toolbar with icons for text, tables, images, and other report elements. The main content area displays a report template with the following sections:

- First Page Header:** Vericut logo.
- Page Header:** Programmer Name: [Programmer Name], 2025年8月15日, 13:10:42.
- Table:**

Part Number	Stock Material	Setup	Machine
[Part Number]	Default	Setup 1	Default
- CYCLE AND PROGRAMMING INFO:**

Machine Time (h:mm:ss)	0:00:00	Total ERRORS:	0
Optimized Time (h:mm:ss)	0:00:00	Total WARNINGS:	0
Time Difference:	0%		
- VERICUT FILE SUMMARY:**

File Type	File Name
[xxx]	[xxx]
- TOOL SUMMARY:**

■ [ステータスボックス]パネル

[ステータスボックス]パネルの「切削情報 Gr」には、「軸方向の深さ」や「接触角度」などの詳細情報が表示されます。

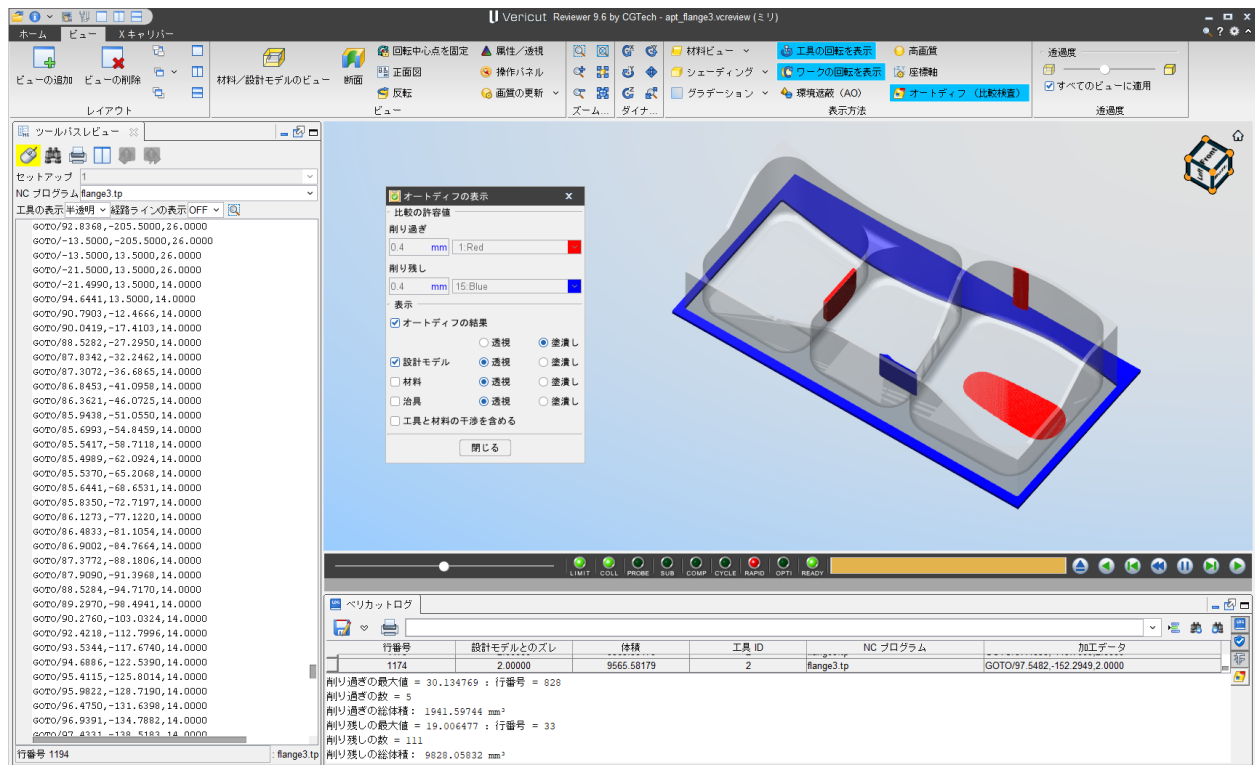
The screenshot shows the "ステータス ボックス:1" panel. It includes a tab for "NC プログラムの単位" and a section for "切削情報". The "切削情報" section has a toggle for "切削状況を記録する" and a table displaying machining parameters:

軸方向の深さ	0	径方向の幅	0
接触角度	0	接触面積	0
周速 (d1)	0	周速 (d2)	0
切削体積/分	0	切り取り厚さ	0

■ レビューアー

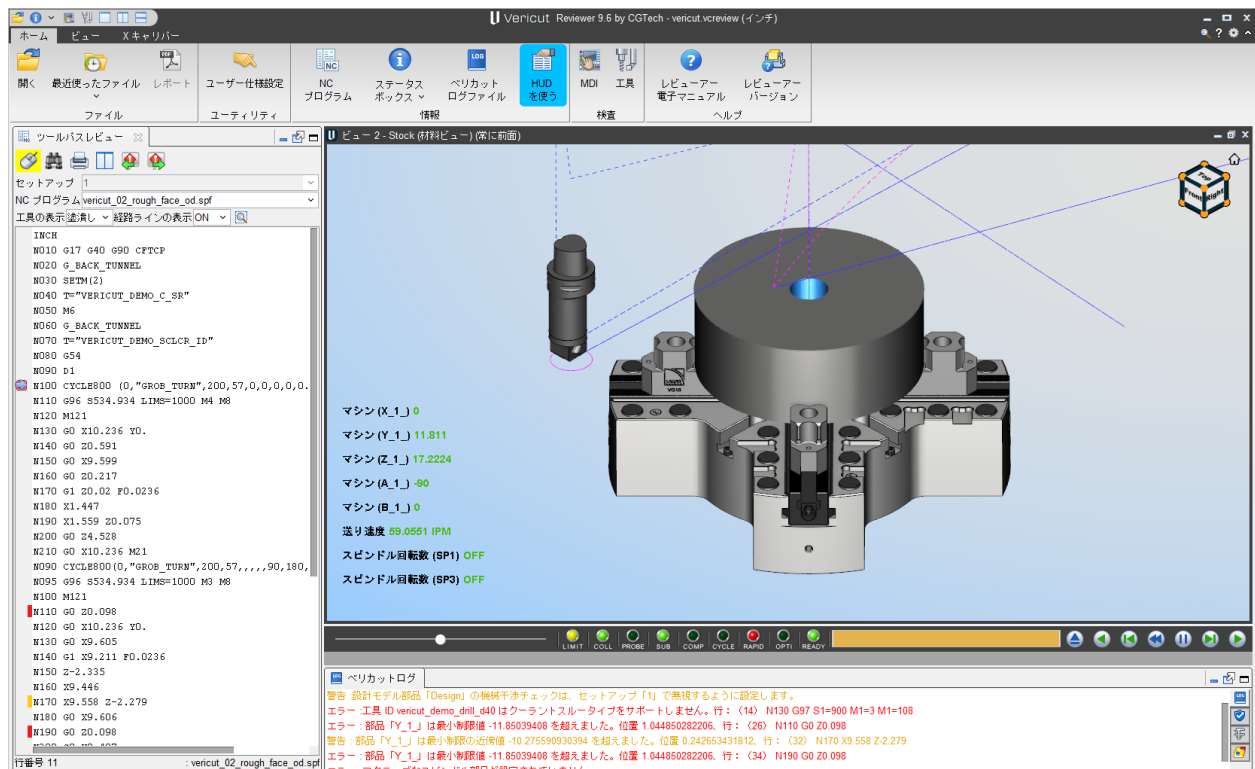
オートディフ

レビューアーにオートディフが追加されます。



HUD

レビューアーにヘッドアップディスプレイが追加されます。[ホーム]タブ>[HUD を使う]からアクセスできます。



ホットキー

レビューアーはホットキーで操作できるようになります。各キーはレビューアー内のアクションに割り当てられています。

- 上下矢印キー : コマ送り／コマ戻し
- HOME キー : リセット
- END キー : 現在の行をプログラム末尾に設定
- Page Up キー : 現在の工具交換の先頭に移動
- Page Down キー : 現在の工具交換の最後に移動

操作性を向上させるためのクイックキー機能もいくつか追加されます。

- S : カーソル位置に開始行を設定
- E : カーソル位置に終了行を設定
- C : カーソル位置に現在行を設定



工具範囲の工具表示

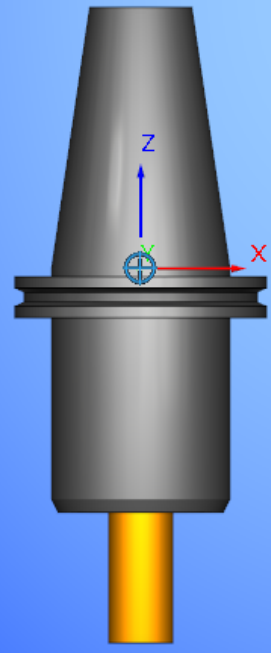
レビューアーの工具ウィンドウで工具交換範囲が設定されている場合、またはレビューモードの工具ウィンドウで選択されている場合、工具交換範囲の開始行または終了行に工具を表示するオプションを追加します。

工具

ID	工具の説明	刃	ゲージ点	NC プログラム
1	1" ENDMILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
2	SPOT DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
7	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
9	ENDMILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
7	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
9	ENDMILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
7	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
9	ENDMILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
10	ENDMILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
2	SPOT DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
3	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
4	RIGID TAP	2	0 0 0	mill_program.mcd
2	SPOT DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
11	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
12	RIGID TAP	2	0 0 0	mill_program.mcd
2	SPOT DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
11	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
12	RIGID TAP	2	0 0 0	mill_program.mcd
2	SPOT DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
11	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
2	SPOT DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd
11	DRILL	2	0 0 0	mill_program.mcd

選択した工具範囲で設定

工具範囲の工具表示 開始行 ☒ 終了行



V9.6 における機能強化や変更

■ ベリフィケーション

- インスペクションの識別子番号が 2 桁から 4 桁に拡張されます。
- インストール後に、ローカルヘルプとオンラインヘルプの切り替えができるようになります。
- インスペクション範囲に最大と最小の機能が追加されます。
- カラーテーマをダークモードに設定すると、表示テキストが白になり、視認性が最大限に高まります。

■ 最適化

- Force の材料チェックの際、カッター材質とエッジタイプが一致しているかを確認するようになります。

■ 工具マネージャー

- 工具マネージャーに工具総数を表示するカウンターを追加します。
- [工具の検索]ウィンドウにある「現在のライブラリーを含める」の機能は、デフォルトでオフになります。
- v8.2 以前に作成された工具ライブラリーファイルを読み込む際は、警告メッセージを表示します。
- 電極工具に切り取り、コピー、貼り付けの機能を追加します。
- NOVO インターフェースは廃止になります。

■ マシンシミュレーション

- 工具径補正では、円弧処理に役立つ補間旋削をサポートするようになります。

■ CAD/CAM インターフェース

- 3DEXPERIENCE で旋削工具のサポートを強化します。
- CATV5 のファイル用フィルターに、.sub と.spf を追加します。
- EdgeCAM 2024 をサポートします。
- GibbsV でプローブ工具のエクスポートをサポートします。
- MCAMV でメッシュモデルのサポートを追加します。
- NXV でスレッドミル工具のサポートを追加します。
- PROEV でスレッドミル工具のサポートを追加します。

■ Gコード処理

- タップサイクルでのペック動作のサポートを追加します。
- マクロ AutoseToolManDiameterVars を追加し、工具直径を取得します。
- マクロ SetNCProgramVar を追加し、NC プログラムのファイルパスを保存します。
- マクロ NumVarBracketOption を追加し、NUM コントローラのテーブル定義に使用します。
- マクロ AdditionalWorkCoord を機能強化し、回転角度をサポートします。
- マクロ CollisionCheckingRequiredOnOff を追加し、マシンの干渉検出が無効な場合にシミュレーションをロックできます。
- マクロ AutoseTableAxisVarsMcdUnits を追加し、測定単位系の切り替えを簡単にします。
- マクロ ljk2AnglesLinearAdjustOption を機能強化し、より適切に回転動作を制御します。
- マクロ ActiveSpindleSpeedCheck を機能強化し、スピンドル回転数をチェックします。

- マクロ `GageSpindleLinearOption` を機能強化し、より正確に駆動点ゼロを追跡します。

■ X キャリパー

- 形状要素／切削履歴の結果表示に、工具 ID を追加します。

■ レポート

- レポートに「経過時間」の機能を追加し、シミュレーション開始時からの各工具の交換時間を表示します。
- レポートに「ゲージ長」の機能を追加し、ゲージ長を表示します。
- 「セットアップ単位のレポート」で、保存順序が明確にわかるよう、レポート命名規則を新しく導入します。

■ サンプルファイル

- ワイヤ放電のサンプルファイルが追加されます。

V9.6 で解決した問題

■ ベリフィケーション

- 変換メニューで、「3 面を指定」の測定に対し、まちがって円弧中心メッセージが生成される問題は修正されました。
- 速度の低下や突然ベリカットが終了する問題は修正されました。
- [工具概要]パネルがオーバーレイ状態のときに表示されない問題は修正されました。
- マクロ **ToolCodeAlpha** が適切に動作しない問題は修正されました。
- ツールパスレビューモードの「現在行として指定」機能が適切に動作しない問題は修正されました。
- バッチモードが適切に動作しない問題は修正されました。
- インプロセスファイルの保存が適切に動作しない問題は修正されました。
- 「機械干渉チェックを実行」がオフの場合に、まちがって警告が出る問題は修正されました。
- [ステータスボックス]パネルの体積除去率が小数点以下の指定された桁数で表示されない問題は修正されました。
- 特定のインプロセスファイルが正しく開かない問題は修正されました。
- インспекションの画像が適切に機能しない問題は修正されました。
- 使用チャネル数に応じて干渉結果が変わる問題は修正されました。
- カスタムアイコンを削除した後も残っていた問題は修正されました。
- 画質更新前にオートディフ画像が保存される問題は修正されました。
- アニメーション速度スライダーが干渉検出に影響を与える問題は修正されました。
- バッチウィザードで一部のコマンドラインオプションが機能しない問題は修正されました。
- 一部の工具が材料を正しく除去しない問題は修正されました。
- 一部のファイルがファイル名を生成しないまま開かれる問題は修正されました。
- ツールパスレビューがエラーのハイライト表示に影響を与える問題は修正されました。
- 回転カッターの STL モデルで、エラー「切削インサートの非切削部分が切削モデルと干渉」が出る問題は修正されました。
- 特定の状況で「変換」メニューを使うと、CSYS 位置が更新されない問題は修正されました。
- 切削結果が旋盤ビューと材料ビューとで異なる問題は修正されました。
- ポストチェックでまちがった警告「巻き戻しは存在しません」が生成される問題は修正されました。
- 特定の条件下で旋削サイクルが起動しない問題は修正されました。
- 特定の状況下でワークオフセットが機能しない問題は修正されました。
- 電極を適切に位置決め、回転できない問題は修正されました。
- 特殊文字を認識しない問題は修正されました。
- グラフで工具のサムネイルを正しく表示しない問題は修正されました。
- インプロセスファイルでツールパスレビューモードが機能しない問題は修正されました。
- 複数ステップのプログラムで設計モデルが移動できない問題は修正されました。
- [インспекションの範囲]ウィンドウにおける速度低下の問題は修正されました。

■ 最適化

- 最適化で余計な F コードが生成される問題は修正されました。
- 分析モードになっている場合に[最適化の管理]ウィンドウが機能しない問題は修正されました。
- 材料の材質データにデフォルトの最適化の値がまちがって生成される問題は修正されました。
- [最適化の管理]ウィンドウでまちがった Java エラーメッセージが生成される問題は修正されました。
- 最適化の結果とベリカットログの切削距離が一致しない問題は修正されました。
- 分析モードをアクティブにした後、最適化モードがグレー表示される問題は修正されました。
- 複数セットアップのプロジェクトで、材料の材質データが非アクティブになる問題は修正されました。
- グラフでクリックしても、NC プログラム領域の適切な個所にジャンプしない問題は修正されました。
- 特定の状況で Force がまちがった送り速度を生成する問題は修正されました。
- 「エアカットだけ」の最適化で、適切な切削送り速度を生成しない問題は修正されました。
- 最適化によって特定の警告メッセージが出力されない問題は修正されました。
- STL ファイルが正しく切削されない問題は修正されました。
- 「エアカットだけ」の最適化が正しく機能しない問題は修正されました。
- 最適化中にまちがった警告を表示する問題は修正されました。
- 複数のプログラムファイルがある場合に Force グラフを生成しない問題は修正されました。
- 学習モードで切削限界範囲の値を正しく調整しない問題は修正されました。
- 穴加工時に最適化が適切に機能しない問題は修正されました。
- APT の最適化が適切に機能しない問題は修正されました。

■ マシンシミュレーション

- 切削材料モデルがまちがって材料を付加する問題は修正されました。
- ミラーされたモデルが干渉カラーを表示しない問題は修正されました。
- シミュレーションの一時停止が干渉チェック結果に影響を及ぼす問題は修正されました。
- ホルダー干渉検出の問題は修正されました。
- Attach 部品を適切にリセットしない問題は修正されました。
- 複数スピンドルのマシンで材料を除去しない問題は修正されました。
- 治具がないのに工具の干渉警告が出る問題は修正されました。

■ 工具マネージャー

- 寸法記入時に工具輪郭のセグメントが欠落する問題は修正されました。
- 場合によって.tls ファイルが HTML 言語を正しく解析しない問題は修正されました。
- 参照工具が正しい刃数をインポートしない問題は解決されました。
- 回転中心が干渉チェックに影響を及ぼす問題は修正されました。
- 工具マネージャーで X キャリパー寸法を重ねて表示する問題は修正されました。
- ミリ単位の工具を使うと、インチプロジェクトを生成するという切削限界の警告が出る問題は修正されました。
- 工具タイプを変更するとモデルも変更してしまう問題は修正されました。
- 工具マネージャーのライセンスによってエラーが発生する問題は修正されました。

- 切削カラーの工具カラーが参照工具で機能しない問題は修正されました。
- コメントボックスでテキストを保持しない問題は修正されました。
- 工具マネージャーでミリに設定した際に、単位を正しく表示しない問題は修正されました。
- 工具マネージャーで APT 7 タイプのカッターを表示しない問題は修正されました。
- 工具のシャンクを正しく表示しない問題は修正されました。
- 工具リストでクーラントタイプを参照しない問題は修正されました。
- グラインダー形状がドレッシング後に歪む問題は修正されました。
- STEP の工具が適切に機能しない問題は修正されました。
- [工具交換リスト]ウィンドウ:「工具交換のイベント設定」タブで、「交換命令の検索」を表示しない問題は修正されました。
- ホルダーを回転輪郭で定義している場合、ホルダー干渉がまちがって発生する問題は修正されました。
- 正しく.tls ファイルを表示しない問題は修正されました。
- モデルファイルのカッターを表示しない問題は修正されました。
- 単位系の変換が適切に機能しない問題は修正されました。
- 「工具 ID で並べ替え」の機能が適切に動作しない問題は修正されました。

■ CAD/CAM インターフェース

CATV5

- まちがった NULL 参照エラーが出る問題は修正されました。

GibbsCAM

- 移行中に測定単位が切り替わる問題は修正されました。
- GibbsV がスイス型工作機械で動作しない問題は修正されました。
- 部品のカラーと工具の移行が機能しない問題は修正されました。
- 旋盤インサートを正しくインポートしない問題は修正されました。

Mastercam

- プロジェクトを開くとワークオフセットを再度設定する問題は修正されました。
- 特定の状況で MCAMV が正しく起動しない問題は修正されました。
- 複数の場所にある同じ.stl ファイルを MCAMV で使おうとする問題は修正されました。
- MCAMV でソリッドモデルを自動的に選択しない問題は修正されました。
- タップ工具を正しく出力しない問題は修正されました。
- フェイスミル工具データを正しく転送しない問題は修正されました。
- 速度低下の問題は修正されました。
- まちがったエクスポートの問題は修正されました。
- まちがった例外エラーが発生する問題は修正されました。
- 不明なエラーが発生する問題は修正されました。
- 実行されていないセットアップに対して、MCAMV で材料モデルをまちがって生成する問題は修正されました。
- 材料モデルと設計モデルで、複数選択機能が使えない問題は修正されました。
- ウィンドウのサイズを適切に変更できない問題は修正されました。

- MCAMV で日本語を解析しない問題は修正されました。
- MCAMV で一部の工具を正しくエクスポートしない問題は修正されました。
- MCAMV で駆動点の作成に失敗する問題は修正されました。

NXV

- ボールノーズドリルを移行しない問題は修正されました。

PowerMILL

- 1 つの.tls ファイルをまちがって複数のセットアップで使っていた問題は修正されました。
- テンプレートのパスを変更するとインターフェースの設定が変わってしまう問題は修正されました。

■ Gコード処理

- マクロ SetVCMultiTools が工具切削距離にまちがった影響を与える問題は解決されました。
- マルチチャネルのマシンで Sin840d がまちがった時間計算を行う問題は解決されました。
- マクロ AutosetToolManCutComVars2 が適切に機能しない問題は修正されました。
- 構文チェックで同じエラーを複数回繰り返す問題は修正されました。
- 工具径補正が動作平面を変える問題は修正されました。
- 特定のマクロによって作成された変数がまちがった場所に保存される問題は修正されました。
- システムが NC プログラムを処理しない問題は解決されました。
- ファイルを開いた際、シミュレーション実行前に切削材料が存在する問題は修正されました。
- [ステータスボックス]パネルの距離の値が負に切り替わる問題は修正されました。
- 構文エラーが正しく表示されない問題は解決されました。

■ グラフ

- グラフが開かずエラーメッセージが表示される問題は修正されました。
- 切り取り厚さと合成力にまちがった値が生成される問題は修正されました。
- マウスフォロワー機能が正しく動作しない問題は修正されました。

■ X キャリパー

- 寸法ラベルの接頭辞が機能しない問題は解決されました。
- X キャリパーのラベルグループで、まちがった測定値を収集してくる問題は解決されました。
- 「皿穴の深さ」が面取りで機能しない問題は修正されました。

■ インストール

- ベリカットのドイツ語版でインストール説明の一部が欠落していた問題は修正されました。

■ レビューアー

- v9.0 以前のレビューアーファイルが正しく読み込まれない問題は解決されました。
- 工具が接触すると材料が消える問題は修正されました。
- 特定の工具がレビューアーに表示されない問題は修正されました。

■ レポート

- レポートで注釈付き画像のテキストが正しく生成されない問題は修正されました。
- 工具レポートでデータエラーが発生する問題は修正されました。

- 列間で単位系が一致しない問題は修正されました。
- レポートが生成されない問題は修正されました。
- 改ページ機能に関する問題は修正されました。
- ビューキャプチャの動作が一貫しない問題は修正されました。

V9.6 の新しいマクロ

次の新しいマクロが V9.6 で追加されます。これらのマクロの詳細については、「ベリカットのマクロ」を参照してください。

AutosetTableAxisVarsMcdUnits
 CollisionCheckingRequiredOnOff
 FanucTPPoint
 FanucTPPointDebug
 FanucTPPointData
 FanucTPPointDataUnits
 GetCurrentControlState
 IgnoreEqualWithAlpha
 Ijk2AnglesTolerance
 NumVarBracketOption
 OptiHeaderOption
 PolarLogic
 RapidInterpolationWarningOnOff
 SetRobotConfigA1NoSignConstraint
 SetRobotConfigA1Positive
 SetRobotConfigA1Negative
 SetRobotConfigA1PositiveRotation
 SetRobotConfigA1NegativeRotation
 SetRobotConfigA4NoSignConstraint
 SetRobotConfigA4Positive
 SetRobotConfigA4Negative
 SetRobotConfigA4PositiveRotation
 SetRobotConfigA4NegativeRotation
 SetRobotConfigA5NoSignConstraint
 SetRobotConfigA5Positive
 SetRobotConfigA5PositiveRotation
 SetRobotConfigA5NegativeRotation
 SetRobotConfigA6NoSignConstraint
 SetRobotConfigA6Positive
 SetRobotConfigA6PositiveRotation
 SetRobotConfigA6Negative
 SetRobotConfigA6NegativeRotation
 SetNCProgramVar
 VirtualXAxisBDynamic
 VirtualXAxisBRotary

Version 9.6.1 リリースノート

2025 年 9 月 10 日

ベリカット V9.6.1 は 64 ビットの Windows で利用でき、Windows 10 と Windows 11 のコンピューターで稼働します。

このソフトウェアは、ベリカット v9.6 のライセンスと Sentinel v9.8.1 のライセンスサーバーを必要とします。

V9.6.1 における機能強化や変更

■ ベリフィケーション

- シミュレーションの停止条件に新しく「同期」が追加されます。

■ Gコード処理

- マクロ FeedPerMinuteType を機能強化し、送り速度をより正確に計算します。
- マクロ SiemensORISOL2SpindleOrient を追加し、スピンドルがゼロ位置にない場合に Siemens ORISOL をサポートします。
- 条件式 BeckhoffCondLeftBracket を追加し、分岐をより適切に制御します。
- マクロ SiemensInterpolationLogic を追加し、彫刻加工の動作をサポートします。

■ 工具マネージャー

- 工具の説明フィールドが拡張され、より長い説明を表示できるようになりました。

■ インターフェース

- GibbsCAM インターフェースに新しいフィルターオプションが追加されました。

■ レポート

- EDM ダイシンキングダイアログに「レポートファイル名」フィールドが追加され、レポート用のダイシンキングシミュレーションの保存先をカスタマイズできるようになりました。
- EDM ダイシンキングレポートをバッチモードで出力するオプションが追加されました。

V9.6.1 で解決した問題

■ ベリフィケーション

- STL インサートで、非切削部分の干渉が誤って表示される問題は修正されました。
- 工具ラック部品が工具の回転を妨げる問題は修正されました。
- 予期しない終了が発生する問題は修正されました。
- 特定の状況で誤った干渉が検出される問題は修正されました。
- 部品の名前が意図したとおりに変更されない問題は修正されました。
- マルチ工具アセンブリがファイル構成コピーの保存時に消えてしまう問題は修正されました。
- 複数の追加設定ウィンドウが同時に開いてしまう問題は修正されました。
- 工具の検索結果が正しく読み込まれない問題は修正されました。
- ビューキューブが正しく動作しない問題は修正されました。

■ マシンシミュレーション

- 積層レーザーが表示されない問題は修正されました。
- 保存時に工具ホルダーの向きが変わってしまう問題は修正されました。

■ 最適化

- 複数のセットアップが存在する場合に、工具使用ごとに材料の材質データを作成が期待どおりに最適化されない問題は修正されました。
- 現在の NC プログラムファイルを最適化されたファイルでリセットおよび置換する機能が意図したとおりに動作しない問題は修正されました。
- 一行送りで実行中に、グラフが工具の選択を保持しない問題は修正されました。

■ 工具マネージャー

- 単位がミリの場合に、ねじ切りインサート形状が正しく表示されない問題は修正されました。
- タップ工具が正しく定義されない問題は修正されました。
- 駆動点設定が意図したとおりに機能しない問題は修正されました。
- 回転体およびスweepの輪郭定義で面取りがある場合に動作しない問題は修正されました。
- ホルダーとカッター部品の名前が変更されないという問題は修正されました。
- サポートされていない工具ファイルの読み込みで、正しいエラーメッセージが表示されない問題は修正されました。
- 参照工具が意図したとおりに動作しない問題は修正されました。
- 元に戻すボタンでマルチ工具アタッチメントが削除されてしまう問題は修正されました。
- コピー／貼り付け機能が材料の材質データで動作しない問題は修正されました。
- 駆動点が割り当てられた番号ではなく工具番号を引き継いでしまう問題は修正されました。
- CAD インポートで、単位がミリの工具がインポートされた際に認識されないという問題は修正されました。
- CAS ファイルが ply ホルダーをエクスポートしない問題は修正されました。
- ツールマネージャーで「スピンドルと一緒に回転させない」設定が保存されない問題は修正されました。
- エンドミル工具が正しいプロファイルを参照しない問題は修正されました。

- 「駆動点設定」が意図したとおりに動作しない問題は修正されました。
- 「ゲージ点設定」が意図したとおりに動作しない問題は修正されました。
- 突き出し長さの変更が選択したホルダーに適用されない問題は修正されました。

■ インターフェース

CATV5

- CATV5 のバージョン番号が正しく表示されない問題は修正されました。

EdgeCAM

- EdgeCAM 2025.1 のサポートが追加されました。

Esprit TNG

- 工具のスピンドル回転方向が間違った方向でインポートされる問題は修正されました。

GibbsCAM

- カッターの突き出し長さが間違った出力される問題は修正されました。

Mastercam

- インポート時に工具が欠落する問題は修正されました。
- フランス語翻訳が正しく表示されない問題は修正されました。
- MCAMV 2026 のテキストフィールドが手動入力を受け付けない問題は修正されました。
- MCAMV が駆動点を正しく出力しない問題は修正されました。
- 誤った工具輪郭が出力される問題は修正されました。
- ホルダー名が誤って出力される問題は修正されました。
- 読み込み時に、材料モデルの位置が誤って配置される問題は修正されました。

NXV

- NXV アイコンが正しく表示されない問題は修正されました。
- NXV の日本語翻訳が意図したとおりに機能しない問題は修正されました。

PowerMILL

- CSYS が正しくインポートされない問題は修正されました。

PROEV

- PROEV 工具のシャンク径が正しく生成されない問題は修正されました。

■ レポート

- サブプログラム実行中に工具交換がレポートされないことがある問題は修正されました。
- 生成されたレポートにゲージ点が表示されない問題は修正されました。
- コーナー半径が出力されない問題は修正されました。

■ レビューアー

- レビューアーが非アクティブなセットアップを含むファイルを開けないことがある問題は修正されました。

V9.6.1 の新しいマクロ

次の新しいマクロが V9.6.1 で追加されます。これらのマクロの詳細については、「ベリカットのマクロ」を参照してください。

ActiveToolName
CsysComponentCheck
SetMaxCentripetalAcceleration
SiemensInterpolationLogic
SiemensOrisol2SpindleOrient

